

1. 対象事業	長岡市合流式下水道緊急改善事業																																
2. 実施主体名称	長岡市																																
3. 計画期間	平成17年度～平成25年度																																
4. 対象事業の進捗状況	長岡市合流式下水道緊急改善計画に基づき、以下の対策を実施した。 ①汚濁負荷量の削減 ・貯留施設の整備（7箇所 8,500m ³ （実績）／7箇所 8,500m ³ （計画）） ②公衆衛生上の安全確保 ・貯留施設の整備（同上） ・越流堰のかさ上げ（3箇所 11cm（実績）／3箇所 11cm（計画）） ③きょう雑物の削減 ・ポンプ場吐き口にスクリーン設置（3箇所（実績）／3箇所（計画）） ・老朽管更生工事による管路内の汚濁源対策（26.2km（実績）／22.5km（計画））																																
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p>〔改善目標〕</p> <p>①汚濁負荷量の削減（分流式下水道並みの汚濁負荷） BOD放流負荷量：102,104kg/年</p> <p>②公衆衛生上の安全確保（未処理放流回数の半減） 未処理放流（越流）回数：58回/年</p> <p>③きょう雑物の削減 ③－1 ポンプ場吐き口にスクリーン設置によるきょう雑物の流出防止：3箇所 ③－2 汚濁源対策（老朽管更生）によるきょう雑物の堆積削減：22.5km</p> <p>〔目標に対する達成状況〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改善項目</th> <th>評価指標</th> <th>対策前</th> <th>事後評価(H28)</th> <th>改善目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急改善事業</td> <td>合流式下水道改善率</td> <td>0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>①汚濁負荷量の削減</td> <td>BOD放流負荷量</td> <td>109,955kg/年</td> <td>93,180kg/年</td> <td>102,104kg/年</td> </tr> <tr> <td>②公衆衛生上の安全確保</td> <td>年間越流回数</td> <td>116回</td> <td>48回</td> <td>58回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③きょう雑物の削減</td> <td>スクリーン設置箇所数</td> <td>－</td> <td>3箇所</td> <td>3箇所</td> </tr> <tr> <td>老朽管更生総延長</td> <td>－</td> <td>26.2km</td> <td>22.5km</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔改善期限までの目標達成の見通し〕 改善目標（汚濁負荷量の削減、公衆衛生上の安全確保、きょう雑物の削減）に関する全ての対策を実施済みであり、目標を達成している。</p>				改善項目	評価指標	対策前	事後評価(H28)	改善目標	緊急改善事業	合流式下水道改善率	0%	100%	100%	①汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	109,955kg/年	93,180kg/年	102,104kg/年	②公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	116回	48回	58回	③きょう雑物の削減	スクリーン設置箇所数	－	3箇所	3箇所	老朽管更生総延長	－	26.2km	22.5km
改善項目	評価指標	対策前	事後評価(H28)	改善目標																													
緊急改善事業	合流式下水道改善率	0%	100%	100%																													
①汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	109,955kg/年	93,180kg/年	102,104kg/年																													
②公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	116回	48回	58回																													
③きょう雑物の削減	スクリーン設置箇所数	－	3箇所	3箇所																													
	老朽管更生総延長	－	26.2km	22.5km																													
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<p>①汚濁負荷量の削減（分流式下水道並みの汚濁負荷） BOD放流負荷削減量：目標7,851kg/年 → 対策後16,775kg/年【目標の約2.1倍の削減】</p> <p>②公衆衛生上の安全確保（未処理放流回数の半減） 未処理放流回数：対策前116回/年 → 対策後48回/年【削減回数68回】</p> <p>③きょう雑物の削減 対策が必要なポンプ場吐き口3箇所にスクリーンを設置 汚濁源対策（老朽管更生）を計画以上に実施：計画22.5km → 実績26.2km</p>																																
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	継続的な越流水の調査結果等を踏まえ、平成21年度に計画見直しを行い、事業の効率化やコスト削減を図り、貯留施設の整備や老朽管更生などの実施により目標を達成した。なお、ソフト対策においては、自助対策として宅内貯留タンクの設置助成制度による各戸貯留（平成25年度までの累計設置件数：306件）を推進し、自助・公助による総合的な観点からの取り組みを実施した。																																
8. 今後の方針	長岡市は、計画に位置付けた改善対策が全て完了したことから、目標は達成された状況にある。今後も施設の適正な維持管理を行いながら、貯留施設の整備や老朽管の改築更新などの下水道事業の計画的実施、宅内貯留タンクの設置助成の継続などの取り組みを実施していくこととする。																																